


[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵
提案件名	防波堤で囲まれた港湾部を利用した汚染水の貯留方法
提案者	公益社団法人 土木学会
<p>1. 技術等の概要</p> <p>現在ある現地東側にある港湾施設の防潮堤を利用した汚染水の貯留方法の提案である。</p>  <p>写真のような①または②の箇所を締切り、内部の海水を排水したのち、底部遮水および側面法部遮水をジオメンブレンやクレイシートなどを用いて多層に被覆し遮水する。その後、低レベル汚染水などはこの中に貯留する。</p> <p>また、汚染水表面にはフローティングルーフを浮かべる。これにより雨水などの混入による量の増加を防ぐ。すでにこの場所では港湾施設として防波堤が設置されており、なおかつ①部では底部遮水コンクリートの打設も終わっているため、既存の構造物を利用して短時間で大容量の貯留場所の確保ができる利点がある。</p> <p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・実用化の状況 直接の実績例はないが、施工方法や被服材料はすでに港湾部の埋立てなどで実績あり。 ・ 開発・実用化に向けた課題・留意点 留意点として、常に潮位より低い水面位置を確保し、堤外への流出を水頭差により管理する方法である。低レベル汚染水なので、外部への流出、特に台風や高潮時に上部からの流出を防止する方法を検討する必要がある。 ・ その他 特になし 	